

国際子ども図書館

近
隣
散
策



写真1 国際子ども図書館（エントランス）

国際子ども図書館（写真1）は、多くの国立・都立の文化施設が集まる上野公園にある。2000年に国立の児童専門図書館として設立された。「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」という理念のもと、国内外の児童書やその関連資料を収集・保存・提供するとともに、児童書に関するさまざまな活動を支援している。

建物は、「レンガ棟」と2015年に竣工した「アーチ棟」の2つから成る。レンガ棟は、1906（明治39）年に帝国図書館として建てられ、国際子ども図書館に転用されるにあたり改修が行われ、2002年に完成、全面開館した。施設設計には安藤忠雄氏の参画を得て、外装、内装は旧態を残すよう極力保全するとともに、徹底的に補修、復元が施された。

建物内の殆どは大規模な改修は施さず、補修のみを行っている。中でも、1階から3階までが吹き抜けの大階段（写真2）にあるシャンデリア、ケヤキの扉、細かなデザインの階段手すりは、100年以上前の創建当時から使い続けられている。貴重な建築遺産を保存利用しながら、新しい機能と空間をあわせもつ図書館として再生し、東京都の「歴史的建造物」に選定されている。

上野公園を散策する親子、建築好きも足を運ぶ、多彩な魅力を備えた図書館である。



写真2 吹き抜けの大階段